

大学教育連携センター・サテライトオフィス 担当者会議

平成22年度

第1回 平成22年 4月28日(水)

第2回 平成23年 3月 1日(火)



第1回大学教育連携センター・サテライトオフィス担当者会議

- 1 日 時 平成22年4月28日(水) 15:30~17:00
- 2 場 所 岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室
- 3 参 加 者 センターおよび各オフィス 代表者、コーディネーター、事務補佐(事務担当)
- 4 報 告 事 項
 - (1) 文部科学省関連の書類等について
 - ①3月31日: 交付内定 通知
 - ②4月9日: 実績報告書、処分制限財産整理簿 提出
 - ③4月14日: 交付申請書、補助対象経費別内訳表、支払計画表、その他添付書類 提出
 - ④4月30日: 大学改革推進等補助金支出簿、補助対象経費別内訳対比表、補助対象経費調査、設備備品調査 提出
 - (2) 平成22年度運営委員等の変更について
 - (3) 本取組事業のパンフレット・ポスターについて
- 5 議 題 案
 - (1) 評価報告書について
 - (2) 2010年度事業計画について
 - ①活動計画について
 - ・ イベントの分散化
 - ・ 教職員・学生の参加可能時期
 - ②各事業の進め方について
 - (3) 共同事業契約書の締結について
 - (4) その他

5 出席者一覧

| 大学名 | 職名 | 氏名 | 出欠 |
|--------|-------------------|--------|----|
| 岡山大学 | 教育開発センター教授 | 橋本 勝 | 出 |
| | 専門職員 | 簗島 素子 | 出 |
| | コーディネーター | 遠山 和大 | 出 |
| | 事務職員 | 小林 祐也 | 出 |
| 岡山商科大学 | 産学官連携センター長 | 大崎 紘一 | 欠 |
| | 産学官連携センター主任 | 中村 裕 | 出 |
| | コーディネーター | 矢延 里織 | 出 |
| | 事務補佐 | | |
| 中国学園大学 | 地域連携センター所長 | 飯田 哲司 | 欠 |
| | 総務課課長補佐 | 新谷 貴子 | 欠 |
| | コーディネーター | 桑田 朋美 | 欠 |
| | 事務補佐 | 矢部 慎吾 | 出 |
| 岡山理科大学 | 大学教育連携センター長 | 木村 宏 | 出 |
| | 総合情報学部教授 | 竹内 渉 | 出 |
| | 学外連携推進室次長 | 金子 典正 | 欠 |
| | 学外連携推進室課長 | 小夜 美知子 | 出 |
| | コーディネーター | 佐藤 大介 | 出 |
| | 事務補佐 | 大本 勝子 | 出 |
| | 事務補佐 | | |
| | e-Learning 専門スタッフ | | |

第1回大学教育連携センター・サテライトオフィス担当者会議 議事録

日 時：平成22年4月28日（水）15：30～17：00

場 所：岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

出席者：岡山大学 橋本勝、簗島素子、遠山和大、小林祐也

岡山商科大学 中村裕、矢延里織

中国学園大学 矢部慎吾

岡山理科大学 木村宏、竹内渉、小夜美知子、佐藤大介、大本勝子

議 案：

1. 第1回大学連携シンポジウムについて

佐藤コーディネーターより、第1回大学連携シンポジウムの進捗状況について報告がなされた。

- ・基調講演の講師は現在未定である。シンポジウムのファシリテーターに倉敷芸術科学大学小山悦司氏、パネリストの学生については岡山大学経済学部学生を、まちづくり実践者については現在未定、高校教員については岡山県教育委員会に紹介いただけるよう打診している状況である。まちづくり実践者について岡山商科大学オフィスの方で対応いただけないかとの提案があり、了承された。
- ・橋本先生より、基調講演の講師について両備グループ代表小嶋光信氏にお願いしてはどうかとの発言がなされ、了承された。
- ・開会挨拶については岡山理科大学の波田学長に、閉会挨拶については大学コンソーシアム岡山の井尻会長にお願いする予定である。
- ・理大ホールは500人弱収容できる会場のため、学内をはじめ地域一般にも広く広報宣伝活動を行っていただきたい。

2. 文部科学省関連の書類等について

佐藤コーディネーターより、配布資料に基づき報告がなされた。

(1) 3月31日：交付内定 通知「資料1」

- ・文部科学省より、平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業・大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム）の交付内定について通知があった。

(2) 4月9日：実績報告書、処分制限財産整理簿 提出

- ・平成21年度実績報告書等について、提出書類に不備が見つかり差し替えを行った。今後このようなことのないよう、連携大学から10月末締めで補助金支出簿を提出していただき、代表校で中間監査を行う予定である。
- ・年度末の会計経理関連の報告書類を作成するための事前打ち合わせ会として、連携校の会計実務担当者による会計経理担当者会議を12月上旬～中旬に開催する予定である。
- ・平成22年度補助金の執行締め日について、実績報告時の書類作成に余裕を持たせるため、人件費や公共料金等の必要経費を除き2月末に設定する。

(3) 4月14日：交付申請書、補助対象経費別内訳表、支払計画表、その他添付書類 提出「資料2」

・平成22年度戦略交付申請書等について、4月12日に文部科学省に送付した。

(4) 4月30日：大学改革推進等補助金支出簿、補助対象経費別内訳対比表、補助対象経費調書、設備備品調書 提出

・平成21年度実績報告書等について、本日文部科学省に送付した。

3. 平成22年度運営委員等の変更について

佐藤コーディネーターより、以下の報告がなされた。

・昨年度の運営委員等が人事異動で一部変更になったため、センターで一括して連携大学に確認をして名簿を作成し、各オフィスにメールで送付する。

・大学コンソーシアム岡山の単位互換担当者を共通で、岡山オルガノンの単位互換担当者として名簿に記載する。

4. 本取組事業のパンフレット・ポスターについて

木村センター長より、配布資料に基づき報告がなされた。

・本取組事業のパンフレット・ポスターが完成し、連携校の全教職員、岡山下の高等学校、大学コンソーシアム、平成20・21年度に採択された戦略GP、その他関係機関等に配布した。

5. 評価報告書について

佐藤コーディネーターより、以下の説明がなされ、了承された。

・今回は連携評価委員の評価コメントを項目ごとに掲載したのみの資料を配布しているが、5月に予定している代表者委員会では評価の集計・分析等を行い、正式な報告書を配布する予定である。

・各オフィスの担当項目について確認いただき、それに対する対応策等を検討してほしい。

6. 2010年度事業計画について

佐藤コーディネーターより、「資料4」に基づき説明がなされ、了承された。

(1) 活動計画について

(2) 各事業の進め方について

・「資料4」の網掛け部分である未確定の日程については、各オフィスで早急に決定し、センターに連絡いただきたい。

・橋本先生より、9月半ばに岡山大学で行っている教員研修「桃太郎フォーラム XIII」をオルガノンと連携して開催したいとの提案がなされ、了承された。

・橋本先生より、まだ日程は決定していないが、大学間を越えた相互授業参観を開始する予定であるとの発言がなされた。

7. 共同事業契約書の締結について

佐藤コーディネーターより、「資料6」に基づき説明がなされ、了承された。

・昨年度は15大学連名で共同事業契約書を作成したが、今年度は各連携大学が本学園に対して同意書を提出してもらう方式に変更させていただきたい。

8. その他

- ・木村センター長より、e-learning 専門スタッフをセンターで6月初旬より採用予定である旨の報告がなされた。



第2回大学教育連携センター・サテライトオフィス担当者会議

- 1 日 時 平成23年3月1日(火) 15:00～17:00
- 2 場 所 岡山理科大学 第9号館 3階 大会議室
- 3 参 加 者 センターおよび各オフィス
代表者、コーディネーター、事務補佐員(事務担当)他
- 4 報 告 事 項
- 5 議 題 案
 - (1) 平成22年度事業実績報告について
 - (2) 連携評価委員会の進め方について
 - ・進行/配布資料/会場見取図
 - ・連携取組事業の評価および評価フォーマット
 - (3) 平成23年度事業実施計画について
 - ・平成23年度補助金調書
 - ・年間活動スケジュールの作成
 - (4) その他
 - ①「岡山情報ハイウェイ」とのリンクについて
 - ②来年度のコーディネーター会議の開催について

6 出席者一覧

| 大学名 | 職名 | 氏名 | 出欠 |
|--------|-------------------|--------|----|
| 岡山大学 | 教育開発センター教授 | 橋本 勝 | 出 |
| | 専門職員 | 簗島 素子 | 欠 |
| | コーディネーター | 遠山 和大 | 出 |
| | 事務職員 | 小林 祐也 | 出 |
| | 大学院医歯薬学総合研究科教授 | 三好 伸一 | 出 |
| | 学務部学務企画課長 | 中野 宏栄 | 出 |
| 岡山商科大学 | 産学官連携センター長 | 大崎 紘一 | 出 |
| | 産学官連携センター主任 | 中村 裕 | 出 |
| | コーディネーター | 矢延 里織 | 出 |
| | 事務補佐員 | 長内 路子 | 出 |
| 中国学園大学 | 地域連携センター所長 | 飯田 哲司 | 出 |
| | 総務課課長補佐 | 新谷 貴子 | 出 |
| | コーディネーター | 桑田 朋美 | 出 |
| | 事務補佐 | 矢部 慎吾 | 出 |
| 岡山理科大学 | 大学教育連携センター長 | 木村 宏 | 出 |
| | 総合情報学部教授 | 竹内 渉 | 出 |
| | 学外連携推進室次長 | 金子 典正 | 出 |
| | 学外連携推進室課長 | 小夜 美知子 | 出 |
| | コーディネーター | 佐藤 大介 | 出 |
| | e-Learning 専門スタッフ | 岡戸 真理子 | 出 |
| | 事務補佐員 | 大本 勝子 | 出 |
| | 事務補佐員 | 本田 絢也 | 出 |

第2回大学教育連携センター・サテライトオフィス担当者会議 議事録

日 時：平成23年3月1日（火）15：00～16：00

場 所：岡山理科大学 第9号館 3階 大会議室

出席者：岡山大学 橋本 勝、遠山和夫、小林祐也、三好伸一、中野宏栄

岡山商科大学 中村 裕、矢延里織、長内路子

中国学園大学 飯田哲司、桑田朋美、矢部慎吾

岡山理科大学 木村 宏、竹内 渉、金子典正、小夜美知子、佐藤大介、

岡戸真理子、大本勝子、本田絢也

議 案：

1. 平成22年度事業実績報告について

佐藤コーディネーターより、「資料1」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・連携評価委員会で配布する資料「平成22年度補助金調書および実績報告書 対比表」の記載内容について修正がある場合、3月3日（木）までにセンターへ連絡してほしい。
- ・平成22年度実績報告書の作成・提出については、2月21日（月）に連携校へメールで3月15日（火）を締切日として依頼している。なお、補助金執行締め日は2月28日（月）を設定している。
- ・別紙の業務フローチャートを確認し、なるべく早期の書類作成・提出をお願いしたい。

2. 連携評価委員会の進め方について

佐藤コーディネーターより、「資料2」に基づき説明がなされ、了承された。

(1) 進行／配布資料／会場見取図

- ・第2回連携評価委員会は3月14日（月）13時から15時、本日の会議と同会場で開催する予定である。
- ・委員会の進行について、昨年度の委員会とは大幅に変更する予定である。昨年度の評価報告書でも委員会の進行について色々ご指摘があったので、その反省を踏まえ、プレゼンテーション形式によるセンターおよび各オフィスからの取組内容説明や成果報告、それに対する質疑応答を行い、評価報告書作成の際の参考にさせていただくよう検討している。
- ・具体的な進行としては、最初に委員長の選出、その後10分程度で木村センター長より本連携取組事業についての説明を行う。次に、センターおよび各オフィスから取組内容説明や成果報告を計80分、各オフィス20分以内で各オフィスの判断に任せるが説明を10～15分、5～10分を質疑応答の時間に充ててもらいたい。最後に、木村センター長より平成23年度計画を10分程度説明してもらおう。
- ・委員会で委員に配布する資料は「資料2-1」のとおりである。関連番号資料は1項目につき1ページのみとし、これ以外の資料は配布しないようにしてもらいたい。
- ・プレゼンテーション時のパワーポイントのスライドおよび説明人数等については、各オ

フィスの判断に任せる。

- ・「資料2-21～2-29」は、昨年度の委員会での配布資料を本年度の内容に修正したものである。昨年度とほぼ同様の内容であるが、「資料2-27～2-29」の点検項目別評価の方法が若干異なっている。前年度は大項目である共通計画全体で何点かというように評価してもらったが、今年度は大項目の中の小項目をそれぞれ採点いただく。文部科学省への報告や各オフィスの事業取組状況の把握に役立ててもらいたい。
- ・「資料2-31」は委員会時の会場見取り図である。
- ・金子学外連携推進室次長（岡山理科大学）より、資料は委員に事前にお渡しの方がよいのではとの意見がなされ、佐藤コーディネーターより、評価に関する資料と関連番号資料については整い次第、早急に送付するとの回答がなされた。
- ・橋本岡山大学オフィス代表より、事業全体に対する質疑応答の時間を設けた方がよいのでは、その時間が設けられない場合はセンターの順番を最後にして全体に対する質疑応答の時間を設けてはとの意見がなされ、木村センター長より、できる限りその方向で検討するとの回答がなされた。
- ・橋本岡山大学オフィス代表より、会場見取り図でいくと有識者がスクリーンから一番遠い席になるので変更してはどうかとの意見がなされ、木村センター長より、有識者がスクリーンに近い席になるよう変更するとの回答がなされた。

3. 平成23年度事業実施計画について

佐藤コーディネーターより、「資料3」に基づき説明がなされ、了承された。

(1) 平成23年度補助金調書

- ・「資料3-2」来年度の補助事業実施計画について
 - 共通計画としては、②将来構想委員会の開催について、9月ごろまでをめぐりに大学コンソーシアム岡山への継承にかかる検討を行う。③代表者委員会は年間3回程度の開催を計画している。④事業報告会の開催を12月上旬に検討しており、それが終わってすべてのイベントが終了した段階で1月に連携評価委員会を開催、最終報告書を作成する。
 - 学士力育成のための計画としては、今年度事業の継続実施および活動の発展を図っていく。⑪共同FD・SD実施報告会は遠隔授業シンポジウムと合同開催し、遠隔授業を通してどういったFDがなされたのかという視点も含めた企画をしてもらいたい。
 - 社会人基礎力育成のための計画としては、今年度まで明記していなかった「高校」という言葉も明記し、今年度同様に出張講義の実施に努める。⑬は今年度のSDワークショップに該当するものであるが、さらに発展的に学生が参画した形のキャリア教育担当者によるワークショップの開催を目指す。⑭⑮についても今年度のイベントを発展させ実施する。
 - 地域発信力育成のための計画としても、今年度事業の継続実施および活動の発展を図っていく。⑰大学連携による地域活性化シンポジウムは、大学連携シンポジウムと地域活性化シンポジウムを合同で開催する。⑱エコナイトは今年度同様に連携校の企画を合同で行うとともに、県やエコ団体との連携を深めてさらに地域に根ざした活動を

検討していく。

- ・「資料3-5～3-10」について、連携校に急きょ新たに確認した項目はライブ型遠隔授業ビデオカメラ一式である。岡山理科大学で購入予定だったストリーミングサーバーを断念し、ライブ授業を録画するためのカメラ、三脚、DVDライター等を連携校に購入してもらうため20万円を追加計上している。ライブ型遠隔授業で接続トラブル等が起こり受講できなかった場合に備え、配信大学に授業を撮影してもらうための機材である。ストリーミングサーバーの購入をやめた理由は、MCUとの相性が不明なことと高額な金額のためである。今後の継続性を考えて、各大学の責任においてライブ型遠隔授業を提供してもらう方針で対応してもらうという考えもあり、各連携校にて購入してもらう流れにした。ライブ型遠隔授業ビデオカメラ一式の機材については仕様書を岡山商科大学とセンターで作成して連携校に案内するとともに、連携校で提供される授業の撮影方法についても簡単なマニュアルを作成して対応いただくよう検討している。
- ・「資料3-7」について、事業推進費の借料・損料にバス借上げ料と委託費にバス運行管理士委託料を計上している。エコナイトでペガサスキャンドルを見学するための費用である。
- ・飯田中国学園大学オフィス代表より、実績報告書に高校・企業の訪問日程を追加してよいかとの質問がなされ、木村センター長より早急に資料をいただければ追記するとの回答がなされた。

(2) 年間活動スケジュールの作成

- ・「資料3-17～20」の活動予定表について、6月の地域活性化シンポジウムでイベント案内を行いたいので、早目に予定を決定してほしい。
- ・「資料3-21」に連携校の行事予定状況を掲載しているので、イベントの予定を決定する際に役立ててほしい。

4. その他

(1) 「岡山情報ハイウェイ」とのリンクについて

- ・中村産学官連携センター主任（岡山商科大学）より、高大連携のためテレビ会議システムを使用して情報ハイウェイに接続したいとの意見がなされ、木村センター長より、今までの経緯として高校にテレビ会議システムがないためつなぐことができなかったのが計画がとまっていた。ただ、相手方がWeb受信であればテレビ会議システムを使用する必要もないので、どういう使用方法をするかの検討が必要であるため、今年度の事業計画には含めていないとの回答がなされた。

(2) 来年度のコーディネーター会議の開催について

- ・佐藤コーディネーターより、センターのコーディネーターが変更になるのでこのままコーディネーター会議を行ってよいのか、来年度は最終年度のため代表者を含めたセンター・サテライトオフィス会議を2カ月に1回程度で行ってはどうかとの提案がなされた。
- ・中村産学官連携センター主任（岡山商科大学）より、実務担当者レベルで細かい話し合いをする機会が必要だと思うのでコーディネーター会議に近い形での連絡会議は開催すべきだと思うとの意見がなされ、木村センター長より、コーディネーター会議を廃止す

るというわけではなく、継続はする必要があるがあれば行うということで提案どおりにしてもよいかとの発言がなされ、了承された。

- 木村センター長より、オフィスのメンバー変更があればセンターまでお知らせいただきたいとの依頼がなされた。
- 橋本岡山大学オフィス代表より、岡山大学オフィス代表が三好伸一先生に変更になる旨報告があり、三好先生より挨拶がなされた。
- 佐藤コーディネーターから、大学教育連携センターでは4月よりコーディネーターが変更になるため現在人選を行っているとの報告があった。
- 遠山コーディネーターより、2011年度単位互換履修生募集要項は、配布している原案のような形で出来上がる予定である。現在、3月10日をめどに内容に訂正があれば連絡をくれるよう連携校に依頼している。